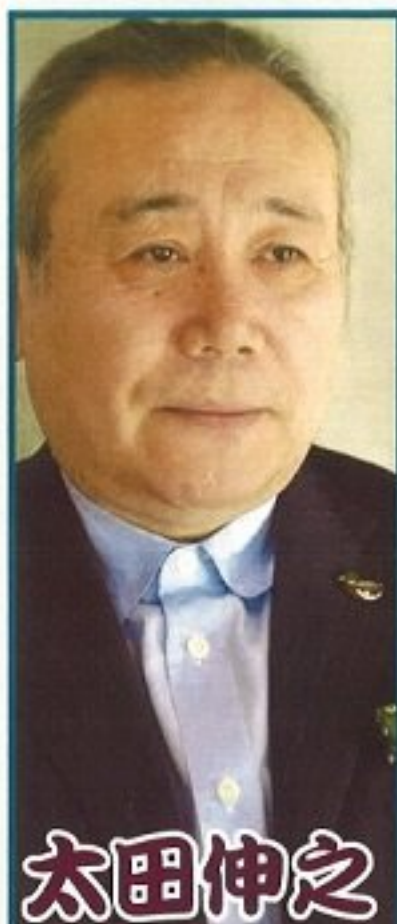


時局

5

2015
600yen

<http://www.jikyokusya.com>



太田伸之

おまけせず堂々と交渉 ビジネスもクールな日本に

松下幸之助直伝／経営者心得帖 江口克彦
アベノミクスは永遠ではない
スプレッドインフレ 名古屋税関長 河上洋右
社会変化に即した税関業務を日々研鑽
ビジネスジャッジ 混迷する財界
行楽特集 春のお出掛け情報
「若宮の杜迎賓館」がグランドオープン
つかの間のバブルで終わるシエールガス革命
須田慎一郎の時事コンパス
北陸新幹線開業後の可能性を探る
私論輿論 榊原英資
21世紀の資本主義

- 加瀬英明のグローバルEYE
朝日新聞の「慰安婦報道」に史上最大の集団訴訟
- 日本大学教授 山崎福寿
望まれる住宅市場の活性化

し、何かの事故を醸成し、社内で社員が後まつた感を持たないで働くフリーアドレス制を提案する。

会社業務に関する資料はクラウドを通じて社員のタブレット端末からいつでもどこでもアクセスすることができ、連携のとれた働きのあるチームワークが実現できる。いつでも資料などを活用したかがタブレットを活用して把握されるため、流出の危険はない。

これにより東日本大震災でも働出したような連絡のつかない所在不明の社員がなくなり、タブレット端末やスマート



タッチ本社

フォンは電線で動くことから仲電にも強く多量同時の業務を円滑化できる。

社外からの電話は固定電話でなく社員全員が手持ちのスマートフォンで受け取ることができ、内線として他のスマートフォンに送ることもできる。

経費削減という点でも、タブレット端末の利用の仕方次第で電話、ファクスやプリンターの印刷用紙やインクのはか不用品が減少する事例は少なくない。

「ITは進化を続けています。いつかパソコンがアナログと言われる時代がくるでしょう。常に最先端のものを追求し、提案していきたい」(田島善和社長)

老舗の製造メーカー大須 質理工が最新設備導入

明治37年から鋳物製造業を営む大須質理工(名古屋市熱田区)は、生産ラインの設計を見直すとともに最新設備を導入。今年5月ごろに稼働させる計画だ。

鋳物製造業界は取引先からの



設計が実装されたバレットコンベアライン

コスト削減要求や、材料価格、電気使用量の高騰による製造原価の上昇、海外との価格競争、労働環境の問題などにより後継者不足で廃業を余儀なくされる会社が多い。その中で、同社は現在名古屋市内で唯一、大手工作機械メーカー向けに約5千種類の小物鋳物部品(100g以下、100g以上)を製造する。

ラインの更新により、さらなる品質の向上によるトップブランドの確立、生産性・効率化の向上、電気使用量の削減による低コスト化を実現。試作品の開発により他社との差別化を図ることができ、技術の伝承にも効果

2015年の番組改編にあたり、「音質好きな若者」を主役とすることに主眼を置いた番組編成を行った。

中部地域聴取率調査では10年以上、12-19歳の幅広い層でも聴取率ナンバーワンとなっている同FM局だが、特に聴取率が高いのは1993年の開局以来のリスナーが多い30-40代だ。そこで近年、将来を見据えて若年層リスナーの取り起こしに取組んできた。

しかしラジオからの呼び掛けだけでは効果が出ていないことから、今年は学校などに出向き、学生を主役とする「リスナー参加型音楽情報ステーション」を若者の生活スタイルに合わせて21-24時という時間帯に全開。学生同士のSNSなどによる出演情報の拡散を促し、ノリリスナーにもアピールしていくという「外に出ていくことで制作費は増えますが、たとえ減益となっても、若い世代にラジオを聞こうと思わせる仕掛けづくりを行っていきます」(藤原功社

長) 今回の改編では学生と同じ口調での番組づくりができるよう、若手ナビゲーターを積極的に起用。新しい切り口でライフスタイルを刺激する番組や、クールジャパンを意識した深夜のサブカル系情報番組も登場している。

愛知産ジビエの消費拡大 目指して交流会開催

自然環境や異常気象などによって全国で野生鳥獣による農作物被害が拡大。その一方、フランス料理などを中心に野生動物の肉(ジビエ)を用いた料理への人気が高まっている。

そこで愛蔵さジビエという産地直産品として見直そうという動きが各地で起きており、愛知県でもこれまでジビエ・エググループリ、ジビエ・スタンプラリーなどを実施。愛知産ジビエへの理解と普及を目指してきたが、さらなる消費促進を図ろうと3月10日ジビエに関わる関係、食肉

処理業者、レストラン、学識経験者、行政関係者が参加しての「愛知産ジビエ交流会」が名古屋国際ホテルにて開催された。

会場には野生鳥獣による農作物被害の実態、シカの生態と対策などの解説パネルや、調理したイノシシにストレスを与えず肉質の劣化を防ぎ、ジビエ料理に適した豚の豚骨などを展示。イノシシ、シカ捕獲の実態についての講演。愛知県環境情報推進課環境課長職員による野生鳥獣肉衛生ガイドラインの説明などが行われた。後、ジビエ料理の試食をしながら参加者間の交流が持たれた。



愛知のジビエ関係者が参加した交流会

今後、捕獲者から消費者までが参加する「愛知産ジビエ情報ネットワーク」の構築を呼びかけていく。ネットワークの参加申し込み、問い合わせ窓口はNPO法人ポラントリ・ネイバーズ交遊会事務局が担当する。

中小企業にIT駆使した 経営削減と災害時対策提案

パソコンの修理、設定サポートなどを手掛ける、マイクロソフトオンラインパートナーとして日本マイクロソフト社の提供する「オフィス365」なんでも相談会名古屋地区の主催、対応を行うタッチ(名古屋市中白区)は、最先端のITを駆使し、中小企業の業務の大幅な効率化と経費削減、災害時対策を実現させる事業を進めている。

同社は「テレワーク」(ITを活用し時間や場所の制約を受けない働き方)による社員のライフワークバランス(仕事と生活の両立を図ること)を重要視。取り組みの一つとして社員数に対

があると考えている。「お客さまに喜ばれるものづくりをモットーに製品を具体化し、社員教育を進めていきたい」(大須質理工社長)